

[成果情報名] 諫早湾干拓地における主要露地野菜の平均収量

[要約] 諫早湾干拓地における主要な露地野菜の過去12年間の平均収量は春バレイショ 3,393、秋バレイショ 3,726、タマネギ 7,514、冬ニンジン 6,487、冬キャベツ 5,158、ダイコン 9,165kg/10a である。干陸当初の生産力を維持している。

[キーワード] 諫早湾干拓地、バレイショ、タマネギ、ニンジン、キャベツ、ダイコン、平均収量

[担当] 長崎県農林技術開発センター・干拓営農研究部門

[連絡先] (直通) 0957-35-1272

[区分] 総合・営農 (干拓)

[分類] 行政

[作成年度] 2012 年度

[背景・ねらい]

諫早湾干拓地においては、2008年4月から営農が開始されているが、当センターでは先行して2000年より中央干拓地において各種試験研究を実施している。諫早湾干拓地は長崎県内の既耕地とは気象並びに土壌条件等が異なり、野菜類の平年の作柄に関するデータはない。そこで、2000年から実施してきた増加生産量調査並びに作柄調査の結果を取りまとめ、諫早湾干拓地における露地野菜の生産能力を評価し、営農確立対策の基礎資料とする。

[成果の内容と特徴]

1. 過去12年間の春バレイショの平均収量は3,393kg/10a、秋バレイショ3,726kg/10aと目標収量3,200kg/10aを上回る。秋バレイショの収量は春バレイショより高い(図1、2)。
2. 早生タマネギの平均収量は7,514kg/10a、冬ニンジンは6,487kg/10aといずれも目標収量6,000kg/10aを上回る(図3、4)。
3. 冬キャベツの平均収量は5,158kg/10aで目標収量6,000kg/10aを下回るが、早生キャベツとしては標準レベル(約1,350g/球)である(図5)。
4. ダイコンの平均収量は9,165kg/10aと目標収量7,500kg/10aを上回る(図6)。
5. 5品目とも栽培年数が経過しても生産性の低下は認められない。

[成果の活用面・留意点]

1. 諫早湾干拓地における営農確立支援対策の基礎資料とする。
2. 諫早湾干拓中央干拓地の長崎県農林技術開発センター試験圃場での結果である。作型、栽培法、施肥条件並びに目標収量は長崎県基準技術に準じた。
3. 年次は作付年で標記している。

[具体的データ]

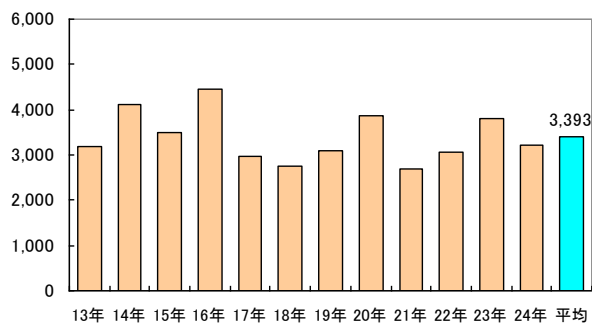


図1 春バレイショの収量 (kg/10a)
品種：デジマ

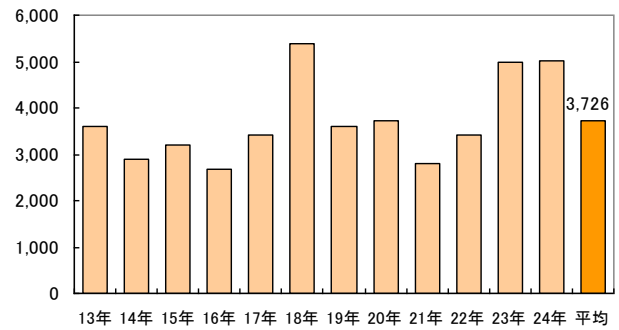


図2 秋バレイショの収量 (kg/10a)
品種：デジマ

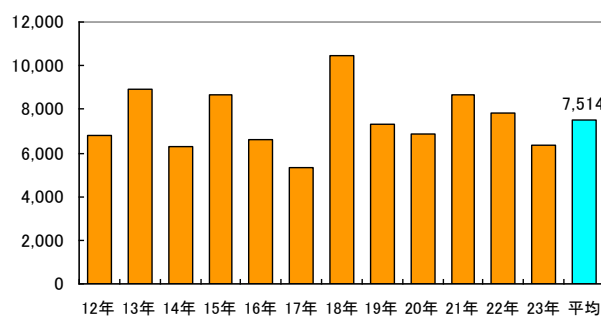


図3 早生タマネギの収量 (kg/10a)
品種：七宝早生

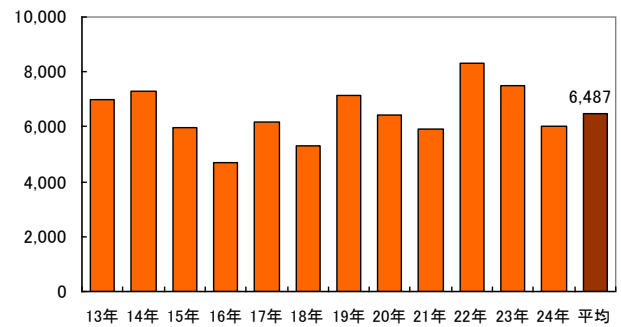


図4 冬ニンジン
品種：紅楽5寸

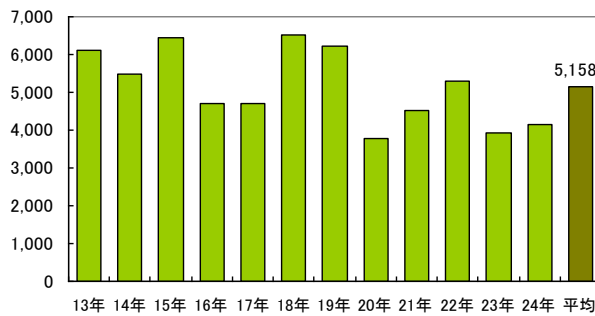


図5 冬キャベツの収量 (kg/10a)
品種：金系 201 号

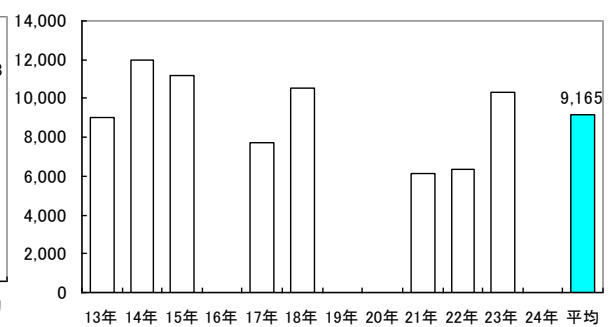


図6 ダイコンの収量 (kg/10a)
品種：YRくらま、福天下、福ほまれ
(H16、19、20、24年は未調査)

[その他]

研究課題名：大規模営農に対応した環境保全型農業の確立

予算区分：県単、一部国庫委託調査

研究期間：2008～2012 年度

研究担当者：小林雅昭、山田寧直、宮寄朋浩、松岡寛智、平山裕介、三木洋子、松尾憲一、木林隆二、黒川陽治、山崎和之、飯野慎也、寺井利久